

社団法人 日本理学療法士協会
東北ブロック協議会 理事会会議録要約

平成 21 年度第 1 回理事会

日時:平成 21 年 4 月 18 日(土)13:00~16:00

会場:青年文化センター(宮城県)

出席者

【役員】

会 長:渡邊好孝(宮城県), 副会長:高橋仁美(秋田県), 理事:川口徹(青森県), 櫻田義樹(岩手県), 及川龍彦(岩手県), 大場みゆき(秋田県), 榊望(宮城県), 多田利信(山形県), 関根 忠男(福島県), 坂内康典(福島県)

【監 事】高橋穂(山形県), 安藤等(宮城県)

【日本理学療法士協会】菅原巳代治, 齊藤功(秋田県)

【事務局】中野渡達哉, 菊地雅行(以上宮城県)

【学術局】須藤恵理子(学術局長:秋田県)

【学術大会担当】縮井純一, 富岡秀則(以上, 第 26 回山形県), 遠藤伸也, 三浦幸一, 山本幸子(以上, 第 27 回宮城県), 高見彰淑(第 28 回秋田県)

報告事項

I. 第 26 回学術大会(山形県理学療法士会)報告

報告者:富岡 秀則

1. 学術大会内容

- ① 演題発表は 69 演題(口述発表 22 演題, ポスター討議 47 演題)
- ② 特別講演・セミナー(4 セクション)・シンポジウム・公開講座は予定通り開催

2. 学術大会参加者

○総参加数 1,003 名(東北ブロック会員 646 名, 東北ブロック外会員 64 名, 学生 87 名, 一般 206 名)

3. 収支決算

○収入:予算 4,408,000 円, 決算額 4,615,333 円. 会場整理費が 170,000 円増.

○支出:4,408,000 円, 決算 4,611,754 円. 差し引き残高が 3,579 円. 準備委員の増員により予算額 800,000 円から 1,255,416 円となり 455,416 円増.

会計監査にて承認された.

4. 反省点及び課題

- ① 1 日目の表彰式・次期大会会長挨拶の時間の工夫が必要。(昼食時の時間と重なった為, 出席者が減少した)
- ② ポスター発表が 2 セクション同時進行のため混雑

し, ポスターが見えにくい, 発表者の声が聞こえにくい, 室温の調整の不足があがった.

- ③ ポスター発表については, 座長に一任としたが, 討議よりも発表形式中心となってしまった. 今後は, 討議に徹底できるよう座長に対して十分な打ち合わせが必要.
- ④ ポスター討議に対しての質問用紙があまり機能しなかった. 今後継続するか検討が必要.
- ⑤ 今回より, 抄録発送費を東北ブロック協議会会計から支出し, 抄録の梱包から発送まで業者に一任した. 事務的な作業が大幅に減少し事務的効率化につながった. しかし, 会員数の増加により各県の名簿管理の不備や業者の発送ミスなども重なり問い合わせが相次いだ. 今後は各県の名簿管理のお願いと業者との連携を十分に図る必要がある. 印刷業者に関しては発注先が異なると印刷費・発送費などが異なる為, 業者の統一が必要か.
- ⑥ 会費について事前登録制による会費の割引き制度の導入やデイ会員の導入も検討が必要.

○検討事項

山形県理学療法士会の理学療法士会員の参加者は何 240 名程度であった.

○決定事項

第 26 回東北理学療法学術大会は承認された.

II. 第 27 回学術大会(宮城県理学療法士会)報告

報告者:遠藤 伸也

1. 期日:平成 21 年 12 月 12 日(土)~13 日(日)
2. テーマ:「輝く明日へー職域を越えてー」
3. 会場:仙台市民会館
4. 参加費:会員 4000 円・非会員 5000 円・学生 1000 円・一般無料
5. 大会役員
大会長:遠藤伸也氏(齊藤病院)
副大会長:三浦幸一氏(国立病院機構医療センター), 小林武氏(東北文化学園大学), 山本幸子氏(東北公済病院宮城野分院)
準備委員長:榊望氏(仙台リハビリテーション病院)
6. 開催内容
 - ① 演題 63 演題(口述 23 演題・ポスター40 演題を予定)学生研究のポスター展示を若干数
 - ② 特別講演
明日の理学療法科学 『理学療法での「複雑系科学」の使い道』講師:久保雅義氏(新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科)
 - ③ 市民公開講座

明日を楽しむ「スマートエイジングのための体づくり」
講師:永富良一氏(東北大学大学院医学系研究科)

④ セミナー

i)明日の内部障害系理学療法学「糖尿病を含めた血管病変と理学療法」講師:舟見敬成氏(総合南東北病院)

ii)明日の理学療法士「理学療法士をとりまく法制度についてー現在と未来ー」講師:岩月 宏泰 氏(青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科)

iii)明日の装具理学療法「最新の装具機能と歩行理学療法はどう関わるべきか」講師:関川 伸哉 氏(東北福祉大学 総合福祉学部)

iv)明日の理学療法技術「職域や対象者の多様化と理学療法士に求められるコミュニケーションスキル」講師:福田裕子氏(エンパワーメントスクール ソレイユ)

⑤ イブニングセミナー

i)明日の理学療法研究「明日から始める研究のいろは 問題解決のプロセス」パネリスト:対馬栄輝氏(弘前大学 大学院保健学研究科),木元稔氏(秋田県太平療育園医療科)

ii)明日の理学療法教育「今後の臨床実習のあり方を考える」講師:藤澤 宏幸 氏(東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科)

⑥ シンポジウム

i)明日の理学療法学環境「病院の外から理学療法を考えるー現場の声ー」座長:星 孝 氏(仙台徳洲会病院)遠藤 伸也 氏(斉藤病院)

シンポジスト:上村 太一 氏(健生株式会社)中田隆文 氏(須藤内科クリニック)大友 昭彦 氏(住宅複合型施設 さくらの里若柳)

ii)明日への備え「震災復興に関する報告会ーそのとき、理学療法士が動いたー」座長:三浦幸一氏(副大会長 国立病院機構仙台医療センター),黒木薫氏(松田病院)

シンポジスト:伊藤英二氏(宮城県理学療法士会 栗原中央病院),五十嵐進氏(新潟県理学療法士会副会長 白根大通病院),神沢信行氏(兵庫県理学療法士会理事 甲南女子大学)

7. 大会日程

・12月12・13日にて、A・B・C会場にて開催予定。

・1日目はA・B会場にて開会式、特別講演、口述発表I、セミナーI・II、シンポジウム、イブニングセミナーの実施。2日目は、A・B会場にて口述発表II・III、セミナーIII・IV、企業セミナー、口述発表IV、市民公開講座、閉会式となっている。両日ともC会場にてポスターの展

示・発表、機器展示を行う予定。

8. 予算案

・収入:総収額 5,443,326 円(学会援助金 600,000 円,会場整理費として 3,700,000 円,展示広告料 600,000 円(展示 300,000 円×5社,企業広告 450,000 円),発送援助金 543,326 円)

・支出:総額 5,443,326 円(会場設営費 1,300,000 円,印刷費 1,300,000 円,発送・通信費 743,326 円,講師料 950,000 円,会議・人件費 800,000 円,事務費 200,000 円,広告宣伝費 100,000 円,雑費 50,000 円)。

・変更点:会員参加人数を 750 名から 800 名とし収入 200,000 円増。支出を会場設営費 1,400,000 円から 1,300,000 円の 100,000 円減,印刷費を 1,196,100 円,抄録発送費 543,326 円,講師費を 700,000 円から 950,000 円の 250,000 円増,広告宣伝費を 50,000 円から 100,000 円の 50,000 円増とした。

○審議事項

1)新たな取り組みの学生発表は、国家試験・学内試験の準備や臨床実習も重なる事という懸念もあり、抄録の提出・審査は実施しない。事前のエントリーについては氏名・所属・テーマによって行い、当日に資料(ポスター)を持参し貼付する。発表は実施しないため発表者本人が来なくても質問を受けられるよう準備する。ホームページや各県ニュースに応募の広告を依頼中。

2)郵便振替での事前登録による割引を検討中。事前登録により 1,000 円程度全員の割引のため 800,000 円の収入減。半数の事前登録では 400,000 円,事前登録の参加者増加により 200,000 円の減収の見込みとなる為、学会援助金増額の検討を要望する。

○決議

審議 1):各県にて 1 題の提出とあるが、養成校の数が各県によって異なるが、エントリー数が多い分には問題ない。また強制ではないが、可能であればエントリーしていただきたい。内容は、実習の症例報告等も可能。大会側としては合計 6 題程度を努力目標としてお願いしたい。

審議 2):今大会から、会員への還元や若い会員が学術的な分野に興味を持てるように、事前登録を開始し金額の設定を 3,000 円とする。また、学会援助金を 200,000 円の追加が増承認された。抄録発送の業者を一本化する必要性がある。

Ⅲ. 第 28 回学術大会(秋田県理学療法士会)報告

報告者:高見 彰淑

1. 会期:平成 22 年 11 月 6(土)・7(日)(予定)

2. 会場: 秋田市文化会館(予定)

3. テーマ: 理学療法魂 -「理学療法士の原点とは」-

4. 役員

大会長: 高橋仁美氏(市立秋田総合病院)

副大会長: 高見彰淑氏(秋田県立脳血管研究センター・学術局長), 山平齊氏(秋田赤十字病院・事務局長), 畠山和利氏(秋田大学医学部附属病院・運営局長)

準備委員長: 須藤恵理子氏(秋田県立リハビリ・精神医療センター)

○検討事項

- ・趣意書: 概ね良好だが一部表現を訂正することとなった。
- ・最近の学術大会では、広告業者の展示で減少しているため、今後の大会では広告展示料を見直していく必要性がある。

IV. 学術局会議報告

1. 学会部報告

第 26 回東北理学療法学術大会において最優秀賞と学会奨励賞の授与式が行われた。次回から学術大会への名所変更に伴い、学術大会最優秀賞と学術大会奨励賞に名称変更。

2. 機関誌編集部

現在、編集作業中。第 21 号編集結果: 投稿数は 23 編。採用数 21 編, 不採用 1 編, 途中辞退 1 編。6 月中旬に発送予定で進行中。論文の著作権の帰属に関して、東北理学療法学会に一文を記入し、投稿者に署名していただく。投稿数に波があるも徐々に増えているため現在査読委員 30 名程度であるが、人数を増やし査読委員の負担を減らしていく。原著・研究報告についての明確な区分けについて検討していく行う予定。

3. 教育研修部

東北ブロック協議会としては特になし。

4. 日本理学療法士協会講習会: 齊藤 功(秋田県)

日本理学療法士協会主催の理学療法士講習会基本編、臨床実習指導者研修会のテーマが 2 つに対する東北ブロック協議会への依頼の説明がなされた。

○検討

- ・企画・運営については東北ブロック協議会が行い、開催については各県に依頼したい。(齊藤氏)
- ・協会から、ブロック単位で依頼されており次年度から開催する方向である。協会主催は基本編であり、応用編は個別申請可能で今までの現職者講習会とほぼ同様の内容である。

・協会の方針としては、現職者講習会そのものを見直すため、研修部のあり方を基本編と応用編に分けた。理由としては、料金設定が若い会員に対して不向きであり、統一するためである。応用編についても、講師料など見直している。基本編に関しては、無料で若い会員に対してしっかりと新人教育プログラムを教育の場として出来るような環境を早期に作っていく。各県理学療法士会には多くの研修会を行う力があると考えているため、生涯学習について協会は予算的な援助を行っていく。また、認定を含めて会員に向けての研修会の企画・開催をお願いしていく。理学療法士講習会基本編に関しては、立候補することで優先的に選択できるようになっている。(菅原オプザーバー)

○決定事項

- ・引き続き学術局にて具体的な体制作りを行う。協会より情報が入り次第、事務局を通じて各理学療法士会長に伝達していく。

V. 平成 20 年度東北ブロック協議会中間決算報告

報告者: 高橋 穂 監事

第 25 回東北理学療法士学会にて、赤字となった。前回の理事会での決定したように、東北ブロック協議会予算からの補てんしている。学術大会予算を作成するにあたり、日当などの目安があったほうが立案しやすいのではないかと。

今学術大会では、接待費が多く、各学術大会にてばらつきが大きい。これに関しては、予算額の何%と基準を設けてもよいのではないかと。

学生に関する見解として、学術大会を利用して勉強となる意味もあり、参加費負担を考えてもよいのではないかと。

→今後の動向により、接待費や学生の参加費について学術局にて検討していくこととなった。

VI. あり方委員会の運営について

報告者: 渡邊会長

提案者 櫻田理事と話し合いを持った。話し合いの中では、枠に捉われることなく話し合うことができ、そこから理事会に提案できそうな組織となるように話は進んでいる。今後も引き続き渡邊会長と櫻田理事とで話し合いを持ち進めていく。

議事

第 1 号議案 平成 20 年度決算・平成 21 年度予算報告

報告者: 中野渡 達哉

1) 平成 20 年度決算

収入:会費 3,812,800 円, 前年度繰越と合わせ決算合計 10,622,221 円. 支出:事業費 3,946,276 円, 管理費 474,591 円, 支出合計 4,420,867 円. 当期収支差額: 416,171 円, 繰越収支差額 6,201,354 円.

2) 平成 21 年度予算

収入:会員 3400 人と見込んで会費収入 4,000,000 円, 広告料は昨年の実績を基に 90,000 円, 収入合計額 10,298,754 円. 支出:事業費 4,850,000 円, 学術大会費 1,730,000 円, 機関誌発行費 1,600,000 円, あり方委員会費 500,000 円, 基金については昨年度同様に 300,000 円, 支出合計額 5,680,000 円.

3) 監査報告

前回学術大会は既に決済している. 東北ブロック協議会については, 監査結果は概ね良好であった. 昨年の理事会にて, 第 25 回学会へ 28 万円の計上をした. 来年も繰越金 5,000,000 円が残高としてあるが, 徐々に減少している. 予算が使われていない部があるため, 予算額の設定を再度見直しの検討が必要である.

4) 発議

- ①あり方委員会予算 500,000 円:事業計画としてどう進めていくかのコンセプトを形作ってから予算を計上すべきであった.(大場理事)
- ②会員数の増加が平成 20 年度より平成 19 年度よりも減少している原因は.(関根理事)

5) 決議

- ①平成 20 年度東北ブロック協議会決算・平成 21 年度東北ブロック協議会予算報告, 監査報告がなされ, 理事会にて承認された.
- ②県内にいる新人スタッフは増加傾向であるも, 日本理学療法士協会への入会率は減少していて, 会員の増加が伸びているとは言えない.(榊理事)

第 2 号議案 東北ブロック協議会長選出条件について

報告者:渡邊 好孝 会長

- 1) 発議:会長選出条件に関わる細則について改定が可能かどうか意見を頂きたい.
- 2) 決議:細則の改定をどのように行っていくのか. 議題である事に関連した学術局・事務局をどう進めていくのかを含め継続審議とした.

第 3 号議案 宿泊費の支給について

報告者:中野渡達哉 事務局長

- 1) 発議:会務のため宿泊が余儀なくされる場合, 宿泊費の支給についてご意見を頂きたい.
- 2) 決議:実費支給にて承認された.

第 4 号議案 事務局機能強化について

第 5 号議案 事務局会議費・行動費について

報告者:中野渡達哉 事務局長

- 1) 発議:別紙資料をもとに事務局の機能分化等について, ご意見を頂きたい.
- 2) 決議:継続審議として次回理事会へ. 今後, 会長・あり方委員会・事務局で詳細に関して検討した上で審議が必要である.

以上